

総務企業委員会会議録

1. 日 時 平成25年9月24日(火曜日)
午後4時00分～午後4時17分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 河本芳久 委員長 山中佳子 副委員長
竹岡昌治 委員 秋山哲朗 委員(議長)
村上健二 委員 西岡 晃 委員
三好睦子 委員 高木法生 委員
馬屋原 眞一 委員 坪井康男 委員
4. 欠席委員 なし
5. 出席した事務局職員
石田 淳 司 議会事務局長 岡崎 基 代 議会事務局補佐
大塚 享 議会事務局係長
6. 説明のため出席した者の職氏名
村田 弘 司 市長 林 繁 美 副市長
波佐間 敏 総務部長 大野 義 昭 総務部総務課長
白井 栄 次 総務部財政課長 篠田 洋 司 市長統合戦略局長
松野 哲 治 上下水道事業局長 矢田部 繁 範 上下水道事業局施設課長
佐々木 靖 司 上下水道事業局管理業務課長補佐

午後4時00分開会

委員長（河本芳久君） それでは、ただいまより総務企業委員会を開会いたします。先ほどの本会議におきまして、本委員会に付託をされました市長提出議案1件につきまして、審査したいと思います。御協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、議案第22号平成25年度美祢市水道事業会計補正予算（第1号）を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、佐々木管理業務課長補佐。上下水道事業局管理業務課長補佐（佐々木靖司君） それでは、議案第22号平成25年度美祢市水道事業会計補正予算（第1号）の御説明をいたします。

背表紙はついておりません。ホッチキス止めの美祢市水道事業会計補正予算書（第1号）を御準備頂きまして、1ページをお開きください。

この度の補正は、今定例市議会におきまして、議論がありました秋芳地域における水源探査への早期着手にかかる経費の増額補正でございます。本年3月の議会におきまして、ご議決をいただいております平成25年度美祢市水道事業会計予算第4条に定めました資本的支出の建設改良費を950万円増額するものでございます。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に不足する額2億9,820万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額807万6,000円及び過年度分損益勘定留保資金2億9,012万4,000円で補てんするものでございます。

それでは、補正予算の詳細につきまして予算実施計画にて御説明いたします。

2、3ページをお開きください。予算実施計画でございます。1款資本的支出・1項建設改良費・2目簡易水道配水設備改良費の委託料におきまして、秋芳地域水源探査業務委託料としまして950万円を増額し、資本的支出の合計額を5億4,127万3,000円とするものでございます。

なお、この水源探査業務につきましては、業務の性質上、実施時期が渇水期というふうに取り扱われております。つまり11月から1月にかけての実施業務となります。

従いまして、12月定例市議会での補正を待ついとまがないため、今定例市議会への追加議案として提出をさせていただくものでございます。

また、4ページには資金計画書、5ページからは予定損益計算書、7ページには予定貸借対照表を掲載してございます。

この度の補正におきましては、収益的収入及び支出予算に増減がございません関係で、予定損益計算書におけます当年度純利益については変更は生じておりません。ただし、繰越利益剰余金につきましては、前事業年度経過による確定に伴いまして、変更が生じております。

また、予定貸借対照表におきましても、前事業年度経過による確定数値を反映させたものとなっております。

説明については、以上でございます。

委員長（河本芳久君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。はい、坪井委員。

委員（坪井康男君） この水源の調査、大変大事な調査だと思います。結局ペレット方式による浄化方式と言うんでしょうか。これとブレンド方式による水の供給どちらが総合的に効率的かつコスト的に競争力があるかと、こういう話だと思います。

実は今、事務的なことはいろいろお話はありました。それはそれで結構なんですけど、この950万円の調査費ですね。どの程度の水源と言いますか、調査が可能なか否か。それからまた今、調査しようとしているところは、未だかつて秋芳町時代も水源の調査等一切行われてない、全く白紙のところには何か目標定めておやりになるのか、何かその全体の中での位置づけというのが良く理解出来ないんです。総論的には水源の調査ということで分かるんですけども、果たして950万できちんとした調査が可能なものなのかどうなのか、具体的に950万って私は技術的なことはよく分かりませんが、どんな調査が出来るんだろうかな、それでぼっと見てですね、水溜まりがあるところ、この辺じゃなかろうかといって、見ても雲を掴むような話だという感じがいたしますので、その辺の技術的な調査の精度といいますかね、あるいは内容といいますか、あるいは調査対象箇所は全く白紙なのか、それとも何かもう秋芳町時代に既に調査が済んでいるのか、そこら辺りがちょっとよく分かりませんので、御説明いただけたらと思います。

委員長（河本芳久君） はい、松野上下水道事業局長。

上下水道事業局長（松野哲治君） ただいま、坪井委員の御質問にお答えいたします。この補正で出しております業務委託の件でございますけども、調査内容としましては、高密度電気探査という調査を行いまして、あらかた水脈があることを調べ

ます。実際はそれから何カ所か調べまして、何カ所のうちのめばしいところにボーリング調査をさせていただきます。ボーリング調査をして、水量等の揚水試験を行いまして、水量を確認をいたします。水量が確認出来ましたら水質検査を行いまして、水が飲料に適しているかどうかの調査を行います。ですから、この業務の内容といたしましては、高密度電気探査、ボーリング調査、それから揚水試験、水質試験、こういうものが主な調査にはなろうかと思えます。

それから調査箇所につきましては、ただいま御指摘にございましたように、旧秋芳町時代にも何カ所か調査をされております。そのうちでめばしいところも聞いております。水があるのは分かっておるんだけど、そこは調査してないというお話も聞いております。そういうところも調査箇所として候補に挙げたいというふうに思っております。それから実際まだ秋芳町時代でも手をつけておられない場所も何カ所かございますので、そういうところも含めて全体で数カ所を候補に挙げて、このような高密度電気探査を行っていきたいというふうに考えております。ボーリング調査につきましては全ての場所をボーリングするわけではございません。高密度電気探査ののち、めばしいところにつきましては、ボーリング調査を実施することにしております。以上でございます。

委員長（河本芳久君） はい、どうぞ。坪井委員。

委員（坪井康男君） 今、とっても大事なことはですね、高密度電気探査でこの辺は水脈があるのではなからうかという見当をつけて、そのピンポイントでボーリングをなさるとこういうことなんですけど、私も実は石油会社に勤めた関係で、石油探査は良くやるんですよ。最初は上空からヘリコプター飛ばして何とか探査というのやるんですけど、中々わからないんですよ。高密度電気探査というのは、どういう方法でおやりになるんですか。何か地上を何か人間が手で持って歩くんですか、それともヘリコプターから何かでだーっとやるんですか。その辺のところちょっと御説明頂けたらと思えます。

委員長（河本芳久君） はい、松野上下水道事業局長。

上下水道事業局長（松野哲治君） ただいま、私の説明いたしました高密度電気探査でございますけども、これは電気探査機を使いまして、地上部分で電極等地上におきまして、この資料におきましては、二極法で探査をするというふうになっております。探査深度としては約50m程度の深さまでは判断出来るだろうということの

資料でございます。以上でございます。

委員長（河本芳久君） はい、どうぞ。坪井委員。

委員（坪井康男君） その探査方法は美祢市では初めて採用される方式でしょうか、それとも以前になされたことあるんでしょうか、あるいはこの近くで探査で水脈をぴちっと、ぴちっとじゃなくてある程度見当つけたという実績があるのか、この辺の高密度電気探査なるものの精度についてちょっと説明してもらえませんか。

委員長（河本芳久君） はい、矢田部施設課長。

上下水道施設課長（矢田部繁範君） ただいまの質問でございますが、最近では於福町西寺の増補改良、その前では豊田前の第三水源、今、矯正施設に増補改良しております所、2カ所探査をいたしまして、水源確保をしております。以上です。

委員長（河本芳久君） ほかに、他の委員ございますか。はい、山中副委員長。

副委員長（山中佳子君） 今、ボーリング50mまでは可能という、地下水脈50mまでは可能というお話でしたが、ボーリングをするのに50mまでボーリングをするとして、1回にどのくらいだいたい予算がかかるものでしょうか。

委員長（河本芳久君） はい、松野上下水道事業局長。

上下水道事業局長（松野哲治君） 山中委員の御質問にお答えいたします。50mという数字は探査深度が50mでございますが、ボーリングを50mまで掘るということではございません。そこしかないということになりますと50m掘る可能性はございますけども、通常ですと10mから15m程度のボーリングを考えております。（発言する者あり）

委員長（河本芳久君） よろしいですか。（発言する者あり）ちょっと詳しい価格。はい、松野上下水道事業局長。

上下水道事業局長（松野哲治君） ボーリングの口径、直径にもよりますけども、1m掘削することで4万から5万程度でございます。径によって変わってまいりますけども、10m、15m程度ですと1m当たり4、5万、直接工事費でございますので、それにまた経費がかかってまいります。以上でございます。

委員長（河本芳久君） はい、山中副委員長。

副委員長（山中佳子君） 平成25年度の当初予算で、私たちが承認しました硬度低減化装置設置のための認定の申請書類の作成なんですが、この件につきましては、一応今のところ差し止めというか、停止されているのでしょうか。

委員長（河本芳久君） はい、松野上下水道事業局長。

上下水道事業局長（松野哲治君） 硬度低減化の伴います今御質問のございました件につきましては、高度低減化の方法がまだ決まっておりませんので、申請書自体のほうの作成は行ってありますけども、その方法によりましては、工事費等また変わってまいりますので、その方法が決定次第、全てをお願いしております。ですから、まるきり止まっているということでもございません。行える事業は継続して行っております。以上でございます。

委員長（河本芳久君） はい、どうぞ、山中副委員長。

副委員長（山中佳子君） そして、もしこの秋芳町北部で水源が見つかりまして、水量が十分あったと。秋芳町岩永、秋吉地区の水源はブレンド方式でその水が使えるということになりましても、美東町まではとても引く可能性があるかも知れませんが、多分ないと思うんですが、その時は今この認定の申請書類というのは、秋芳・美東ワンセットでやってらっしゃると思いますが、その辺の所はどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

委員長（河本芳久君） はい、松野上下水道事業局長。

上下水道事業局長（松野哲治君） 変更につきましては、別々で申請するようになりますので、一緒に併せてということではございません。

委員長（河本芳久君） はい、山中副委員長。

副委員長（山中佳子君） それでは、美東町だけでも軟水化装置、硬度低減化装置は付くということではよろしいのでしょうか。

委員長（河本芳久君） はい、村田市長。

市長（村田弘司君） 今の質問ですが、今年、平成25年度の当初予算で予算化をしておると思えますけれども、美東地域そのものが、水量が不足しておるということがありました。ですから、美東地域は既に水源探査をするということの予算を今年度つけてます。ですからその水量にもよると思えますけれども、基本的には今年の冒頭にペレット方式ということ考えておりましたから、そのことを御説明して、議会でも予算を承認していただきました。

今回、秋芳地域の非常に沢山の方からブレンド方式でどうかやってもらえんやらかということの御要望があったんで、物事というのはおいといたら棚上げになりますから、早急に補正を組んで秋芳地区には水源調査を行う。美東についても当初予

算でやっていますから、美東の水源調査ももちろん行います。管路の、ですから今松野局長が申しましたように、複数の所を候補地として挙げて、秋芳町も掘りますし、美東についてもそれはやるとことになります。

ですから管路の関係で長い管を布設することによって、非常に高いイニシャルコストがかかるということであれば、水道料金もそのことが影響してきますので、総合的に判断させてもらいたいということ、きょう最終本会議になりましたけれども、議会の中でお話をしたということで、よりベターな方法を美東・秋芳地域の中でもとらせていただきたい。ですから、結果として、例えば秋芳地域はブレンド方式、美東地域はペレット方式ということになるかもしれませんし、また、その逆になるかもしれませんし、両方がブレンド方式になるかもしれないし、両方がペレット方式になるかもしれない。それは、今申し上げたように松野局長が説明しましたけれども、矢田部課長が説明しましたけれども、いろんなこと調査させてますから、それによってイニシャルコストも変わってきますし、そのことも含めてじゃないと判断が出来ないということで、今この時点で美東はペレット方式です。秋芳はブレンド方式ですということはまだ言えないです、今の段階では、ということ。ですから調査のための水源調査ということの予算を出しておるということです。

委員長（河本芳久君） ほかにどなたか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（河本芳久君） ありませんでしたら、本案に対する御意見はございませんですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（河本芳久君） 意見なしということでございますので、それでは、これより議案第22号平成25年度美祢市水道事業会計補正予算（第1号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（河本芳久君） 全員異議なしと認めます。よって議案第22号は原案のとおり可決されました。御苦労様でした。

午後4時17分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成25年9月24日

総務企業委員長

河本芳久